

Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 5.0 リリースノート

初版：2023 年 4 月 3 日

最終更新：2023 年 4 月 3 日

このドキュメントでは、Cisco Crosswork Change Automation と Health Insights の概要、このリリースの新機能、互換性情報、使用ガイドライン、および制限事項について説明します。

製品の概要

Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights アプリケーションによって、サービスプロバイダーは目的主導型のクローズドループ運用のモニタリングと変更管理を迅速に展開できます。

Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights には、次の使用例をサポートする、すぐに使用できるソリューションが用意されています。

- 重要業績評価指標（KPI）をモニターし、異常があればオペレータに通知します。
- KPI の変化によってトリガーされるネットワークの変更を準備し、オペレータによる制御のもと、あるいは自動的にこれらの変更をロールアウトします。
- 変更による影響と問題の修復を自動化します。

Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 5.0 で追加された機能

このセクションでは、Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights の本リリースで提供される新機能について説明します。

Cisco Crosswork 変更自動化

このリリース以降、Cisco Crosswork 変更自動化 は、リンクされた Health Insights KPI によって生成されたアラートを介してトリガーされる Change Automation プレイブックの自動実行を許可します。詳細については、『[Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 5.0 User Guide](#)』のトピック「[Link KPIs to Playbooks and Run Them Automatically](#)」を参照してください。

Cisco Crosswork Health Insights

このリリース以降、Cisco Crosswork Health Insights を使用すると、ユーザーは Health Insights の重要業績評価指標（KPI）を1つ以上の変更自動化プレイブックにリンクできるようになります。また、リンクされたKPIによって生成されたアラートに基づいて、ネットワークの問題がそれらのプレイブックで自動的に修復されます。詳細については、『[Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 5.0 User Guide](#)』のトピック「Link KPIs to Playbooks and Run Them Automatically」を参照してください。

互換性に関する情報

次の表に、テスト済みで Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights と互換性があることがわかっているハードウェアとソフトウェアのバージョンを示します。インストールの詳細な要件については、『[Cisco Crosswork Network Controller 5.0 Installation Guide](#)』を参照してください。

ハードウェアおよびソフトウェア	サポートされるバージョン
ハイパーバイザと vCenter	<ul style="list-style-type: none"> VMware vSphere 6.7 以降 VMware vCenter Server 7.0 および ESXi 7.0 VMware vCenter Server 6.7（アップデート 3g 以降）および ESXi 6.7（アップデート 1 以降）
ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> Google Chrome : 100 以降 Mozilla Firefox : 100 以降
Cisco Crosswork インフラストラクチャ	バージョン 5.0
Cisco Crosswork データゲートウェイ（Cisco Crosswork Data Gateway）	バージョン 5.0

ハードウェアおよびソフトウェア	サポートされるバージョン
Cisco Network Services Orchestrator (Cisco NSO)	<ul style="list-style-type: none"> • 6.1.0
	<p>Cisco Network Element Driver (NED)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco IOS XR : <ul style="list-style-type: none"> • CLI : 7.46.3 • NETCONF : 7.3.2、7.315、7.4.2、7.5.2、7.6.2、7.7.2、7.8、7.9 • Cisco IOS: <ul style="list-style-type: none"> • CLI : 6.86.6
機能パック	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Crosswork Change Automation NSO Function Pack 5.0.0 Installation Guide • Cisco Crosswork NSO Telemetry Traffic Collector Function Pack 5.0.0-62 Installation Guide • Cisco Network Services Orchestrator DLM Service Pack 5.0.0 Installation Guide • Cisco NSO Transport SDN Function Pack Bundle 5.0.0 Installation Guide • Cisco NSO Transport SDN Function Pack Bundle 5.0.0 User Guide

使用上のガイドラインと重要な注意事項

このセクションでは、Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights のリリースを使用する場合に考慮する必要があるガイドラインと重要な注意事項を示します。

Cisco Crosswork Change Automation

Cisco Crosswork 変更自動化 の使用方法については、『[Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 5.0 User Guide](#)』の「[Automate Network Changes](#)」の章を参照してください。

フレキシブルなプレイブック開発ツールの使用について詳しくは、『[Cisco Crosswork Change Automation Developer Guide on Cisco DevNet](#)』のカスタムプレイブックの作成に関するチュートリアルを参照してください。

Cisco Crosswork Health Insights

Cisco Crosswork Health Insights の使用方法については、『[Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 5.0 User Guide](#)』の「[Monitor Network Health and KPIs](#)」の章を参照してください。

- 関連するデバイスマトリックをモニタリングするために、KPI プロファイル内の KPI をグループ化します。最良の結果を得るために、KPI プロファイルごとに 10 個の KPI に制限します。KPI プロファイル内でサポートできる KPI の最大数は 50 個です。

KPI は、その KPI によって収集されるデータの量によって変動します。システムで最大 50 個の KPI プロファイルを使用できますが、KPI を展開する前に、ライセンスと Crosswork Data Gateway キャパシティの両方があることを確認する必要があります。詳細については、『[Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 5.0 User Guide](#)』のトピック「[Enable KPI Profiles on Devices](#)」を参照してください。

- 最適なパフォーマンスを得るには、100 台以下のデバイス群で KPI プロファイルを有効にします。

デバイスで KPI プロファイルを有効にする場合、Cisco Crosswork Data Gateway で十分なキャパシティを使用できることを確認します。十分なキャパシティを使用できない場合、それが原因で過負荷や機能停止が発生する可能性があります。詳細については、『[Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 5.0 User Guide](#)』のトピック「[Enable KPI Profiles on Devices](#)」を参照してください。

- 最高のシステムパフォーマンスを得るには、デフォルトの KPI ケイデンスを使用します。

KPI ケイデンスは、KPI の性質に基づいて設定されます。低いケイデンス（たとえば、10 秒程度）を使用することを決定する場合、シスコプロフェッショナルサービスに確認する必要があります。

既知の問題と制限事項

以下は、Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights の既知の問題、制限、および回避策です。

Cisco Crosswork Change Automation

- プレイブックの実行が失敗し、「NSO でデバイスクレデンシャルの上書き設定」に失敗したことを示す「アクセスエラー」メッセージが表示されます。これを回避するには、「admin」が Cisco NSO の **ncsadmin** ユーザーグループのメンバーであることを確認してください。
- 特定の負荷条件下では、プレイブックの実行がタイムアウトになることがあります。
 - 連続して失敗する場合は、ジョブのタイムアウトを変更してみてください。
 - デバイスがロックされているために失敗した場合は、デバイスの状態を [ダウン (DOWN)] に変更してから、もう一度 [アップ (UP)] に変更してみてください。

- 動的グループタグに対してプレイブックをスケジュールしている間、ジョブの実行がスケジュールされるまで、[ジョブ履歴 (Job History)] ページ内にあるジョブに対応するジョブ設定画面には、関連デバイスが表示されません。
- 複数のデバイスで、異なる *collection_type* パラメータ値を使用して同時にプレイブックを実行すると、障害が発生する場合があります。障害が発生したプレイブックを再実行すると、問題が解決します。
- SWIM API を使用して削除フローを実行すると、イメージが非アクティブ化されてから削除されます。

Cisco Crosswork Health Insights

- プロファイル内のすべての KPI に対してアラートを無効にする KPI プロファイルをデバイスに適用しても、アラートが送信される可能性があります。これは、KPI プロファイルの ID が、アラートが有効になっている他の KPI プロファイル ID とサブストリングを共有している場合に発生する可能性があります。たとえば、ID が「L2」、「L2SNMP」、および「L2GRPC」である 3 つの KPI プロファイルのセットでは、3 つのプロファイル ID すべてにサブストリング「L2」が含まれています。この問題を回避するには、KPI プロファイル名が一意であることを確認し、他の KPI プロファイルとサブストリングを共有しないようにします。
- 既存の有効な KPI プロファイルに新しい KPI を追加し、新しく追加された KPI を編集すると、操作のタイムアウトが発生する可能性があります。KPI の編集では書き込み時間が最大で 5 分かかることがあるため、プロファイルで編集された KPI が最終的に有効になります。タイムアウトメッセージに問題がある場合は、次の項で提案されているように、書き込み遅延が経過するまで KPI プロファイルを無効にできます。
- KPI プロファイルを有効にした後、以下の 3 つの方法のいずれかを使用して、関連付けられた KPI のケイデンスとしきい値のパラメータを編集できます。
 - 必要なケイデンスとしきい値のパラメータを使用してカスタム KPI を作成し、既存の KPI プロファイルに関連付けます。
 - 関連する KPI が関連付けられた新しい KPI プロファイルを作成します。この新しい KPI プロファイルを有効にする前に、ケイデンスとアラートのパラメータを更新します。
 - KPI プロファイルを無効にし、関連付けられた関連 KPI を変更します。その後、KPI プロファイルを再度有効にします。
- カスタム KPI の場合：
 - API を直接使用するカスタム KPI を作成する場合、特定の階層（収集パス）まで至る、リーフセンサーへの完全センサーパス（部分センサーパスではなく）を選択する必要があります。
 - すべてのリーフセンサーパスは、その KPI でのみ使用するために予約されています。

- カスタム KPI の詳細については、『Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights User Guide』の「Monitor Network Health and KPIs」の章を参照してください。

関連資料

次の表に、Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights の現行リリース用に提供されているドキュメントの一覧を示します。すべての Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights エンドユーザーマニュアルに <https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/crosswork-change-automation/model.html> および <https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/crosswork-health-insights/model.html> でアクセスできます。

Cisco Crosswork Network Controller 5.0 の情報ポータルが利用可能になりました。情報が機能領域別に分類されているため、見つけやすく、簡単にアクセスできます。

マニュアルタイトル	内容
Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 5.0 リリースノート	このマニュアル
Cisco Crosswork Network Controller 5.0 Installation Guide	すべての Cisco Crosswork アプリケーションとそれらの共通インフラストラクチャの共有インストールガイド。内容： <ul style="list-style-type: none"> • システム要件 • インストール前提条件 • インストール手順 • アップグレード手順

マニュアルタイトル	内容
Cisco Crosswork Network Controller 5.0 Administration Guide	<p>すべての Cisco Crosswork アプリケーションとそれらの共通インフラストラクチャの共有アドミニストレーションガイド。内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> • クラスタとデータゲートウェイの管理 • データ収集 • ハイアベイラビリティ • バックアップと復元 • デバイスのオンボーディングと管理 • ゼロタッチプロビジョニング • マップの設定 • ユーザー、アクセス、およびセキュリティの管理 • システムの正常性の維持
Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights 5.0 User Guide	<ul style="list-style-type: none"> • 使用する前に • ネットワークへの変更の展開プロセスの自動化 • ネットワークの正常性のモニタリング • リアルタイムでの重要業績評価指標 (KPI) のモニタリング、アラート、およびトラブルシューティングの実行 • マルチベンダー環境でのテレメトリデータの収集と管理
Open Source used in Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights	<p>Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights で使用されるオープンソースソフトウェアのライセンスと注意事項の一覧。</p>
Cisco Crosswork API References	<p>上級ユーザーは、API を使用して Cisco Crosswork の機能を強化できます。API の使用方法に関する API ドキュメントとチュートリアルは、Cisco Crosswork Devnet サイトで入手できます。</p>

その他の関連ドキュメント

このセクションでは、Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights に関連する製品のドキュメントへのリンクを示します。

- [Cisco NSO Transport SDN Function Pack Bundle 5.0.0 Installation Guide](#)
- [Cisco NSO Transport SDN Function Pack Bundle 5.0.0 User Guide](#)
- [Cisco Network Services Orchestrator DLM Service Pack 5.0.0 Installation Guide](#)
- [Cisco Crosswork NSO Telemetry Traffic Collector Function Pack 5.0.0 Installation Guide](#)
- [Cisco Crosswork Change Automation NSO Function Pack 5.0.0 Installation Guide](#)
- [Open Source Used in Element Management Functions 5.0.0](#)

すべての Cisco Crosswork 製品のドキュメントには、[Cisco Crosswork Network Automation Documentation](#) でアクセスできます。

Cisco Crosswork の未解決のバグ

Cisco Crosswork の使用中に問題が発生した場合は、こちらの[未解決のバグのリスト](#)を確認してください。リスト内の各バグ ID は、詳細な説明と回避策にリンクされています。

Cisco バグ検索ツールを使用して、特定のバグを検索したり、リリース内のすべてのバグを検索したりできます。

1. [Ciscoバグ検索ツール (Cisco Bug Search Tool)] <https://tools.cisco.com/bugsearch> にアクセスします。
2. 登録している Cisco.com のユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン (Log In)] をクリックします。

[バグ検索 (Bug Search)] ページが開きます。



(注) Cisco.com のユーザー名とパスワードをお持ちでない場合は、[ここで登録](#)できます。

3. 次のいずれかのオプションを使用してバグを検索し、Enter (リターン) を押して検索を開始します。
 - 特定のバグを検索するには、[検索対象 (Search For)] フィールドにバグ ID を入力します。
 - 特定の基準に基づいてバグを検索するには、問題の説明、機能、または製品名などの検索基準を [検索対象 (Search For)] フィールドに入力します。
 - 製品に基づいてバグを検索するには、製品リストから製品を入力または選択します。たとえば、「Cisco Crosswork 変更自動化」または「Cisco Crosswork Health Insights」と入力します。

- リリースに基づいてバグを検索するには、[リリース (Releases)] リストで、特定のリリースに影響するバグ、特定のリリースで修正されたバグ、またはその両方を検索するかどうかを選択します。次に、[リリース (Releases)] フィールドに1つ以上のリリース番号を入力します。

4. 検索結果が表示されたら、フィルタツールを使用して結果を絞り込みます。ステータス、シビラティ (重大度) などでバグをフィルタ処理できます。



ヒント 結果をスプレッドシートにエクスポートするには、[Excelに結果をエクスポート (Export Results to Excel)] リンクをクリックします。

オープンソース

Cisco Crosswork で使用されるオープンソースソフトウェアのリストは、「[Cisco Crosswork Change Automation and Health Insights](#) で使用されるオープンソース」で確認できます。

セキュリティ

シスコは、すべての製品が業界の最新の推奨事項に準拠するように大きく進歩しています。セキュリティはエンドツーエンドのコミットメントであると固く信じており、環境全体を保護できるように支援を行っています。シスコのアカウントチームと協力して、ネットワークのセキュリティプロファイルを確認してください。

製品の検証方法について詳しくは、「[Cisco Secure Products and Solutions](#)」および「[Cisco Security Advisories](#)」を参照してください。

シスコ製品のセキュリティに関して質問や懸念がある場合は、シスコのカスタマーエクスペリエンスチームとのケースを開き、使用しているツールと、そのツールで報告された脆弱性についての詳細をお知らせください。

アクセシビリティ機能

すべての製品マニュアルは、イメージ、グラフィック、および一部のチャートを除き、アクセシブルになっています。音声、点字、または大きな文字の製品マニュアルが必要な場合は、Web で[シスコユーザー補助チーム](#)にお問い合わせいただくか、accessibility@cisco.com に電子メールをお送りください。

マニュアルを入手してサービス リクエストを送信する

マニュアルの入手、Cisco Bug Search Tool (BST) の使用、サービスリクエストの送信、追加情報の収集の詳細については、『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』を参照してください。



(注) ライセンス関連の問題については、スマートライセンスのサイトを確認してください。詳細については、『[Smart Software Manager Guide](#)』を参照してください。新規または追加のライセンスを購入するには、シスコのアカウント担当者（営業）または製品を購入したパートナーにお問い合わせください。

サービスに影響しない問題については、サポートポータルからサポートケースを開き、関連するすべてのログまたはスクリーンショットをアップロードします。

より緊急の問題については、サービスリクエストを開き、適切なキーワードを使用してリクエストが適切なチームに届くようにします。

新しく作成された、または改訂されたシスコのテクニカルコンテンツをお手元に直接送信するには、『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』 [RSS フィード](#)をご購読ください。RSS フィードは無料のサービスです。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。